

労災事故防止

ジャッキが外れる・・・

車の下敷き、整備士の男性重体

左前輪を外し、車をジャッキで持ち上げて潜り込む形でパーツ交換

2016年6月8日（水）22時19分

8日午前11時50分ごろ、埼玉県の自動車整備工場で、車のパーツ交換をしていた整備士の男性（31）が車両の下敷きになる事故があり、意識不明の重体となっています。

作業中に車の下敷きになりました。男性は左前輪を外し、車をジャッキで持ち上げて潜り込む形でパーツ交換を行っていましたが、何らかの原因でジャッキが外れ、傾いた車の下敷きになったと見られています。

作業から戻ってこないことを不審に思った会社の社長が車の下敷きになっている男性を見つけ、男性はすぐに病院に搬送されましたが、胸などを圧迫されていて意識不明の重体となっています。

警察は、会社側の過失の有無も含め、事故の原因を詳しく調べています。

リフトに頭を挟まれる

男性従業員が意識不明の重体

点検している最中にリフトが動き出した

2016年6月8日（水）19時38分

8日午前9時40分ごろ、京都府の油圧製品の製造販売会社の工場内で、男性従業員（56）がリフトの点検中に頭部をはさまれた。

病院に搬送されたが、意識不明の重体。

警察が詳しい事故原因を調べている。

同署によると、油圧製品を運ぶためのリフトに不具合があり、点検している最中にリフトが動き出したと見られるという。

近くにいた女性従業員が悲鳴に気づき、リフトの緊急停止ボタンを押し、別の従業員が119番した。